取扱説明書

3回線音声応答装置
AT-D39SⅡ

このたびは、3回線音声応答装置 AT-D39SⅡ をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をお読みいただき正しくお使いください。
お読みになったあとも大切に保存していただき、必要なときにお役立てください。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。

ワンポイント

この表示は、本製品を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。

⚠警告 ご使用にあたって

本装置がぬれたり、水が入らないようご注意ください。また、ぬれた手で本装置を操作しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

本装置のケースをはずしたり、改造しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。内部の点検・清掃・修理は、当社のサービス担当にご依頼ください。

本装置の通風口などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。万一、異物が入ったときは、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス担当にご連絡ください。

⚠警告 電源について

AC100V の電源コンセント以外には、絶対に接続しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししたり、本装置を操作したりしないでください。
感電・故障の原因になります。

電源アダプタは大切に扱ってください。
コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、加工や加熱したり、傷つけたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。コードが傷んだ場合は、当社のサービス担当にご連絡ください。

電源アダプタは添付のもの以外は使用しないでください。
火災・感電の原因になります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。
火災・感電の原因になります。

電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに確実に差し込んでください。
また、定期的に電源アダプタをコンセントから抜いて点検・清掃をしてください。
ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

⚠警告 設置場所や環境について 設置にあたって

本装置のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属類をおかないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因になります。万一、異物が入った場合は、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス担当にご連絡ください。

⚠警告 設置場所や環境について 設置にあたって

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
倒れたり、落下してけがの原因になります。

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

⚠警告 こんなときは（対処のしかた）

雷が鳴り出したら、本装置や電源アダプタには触れないでください。
落雷による感電の原因になります。

動作が異常、音が出ないなど故障状態のままで使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

煙が出ている、変な臭いがするなど異常状態のまま使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、煙が出なくなることを確認して当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

内部に水が入った場合は、使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

床や壁の掃除などによって、電話コードやモジュラージャックに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。
そのまま使用すると、火災の原因になります。

⚠注意 使用方法・設置環境について

直射日光の当たる場所や温度の高いところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因になります。

密閉したところに置かないでください。また、テーブルクロスや座布団などで通風口をふさがないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因になることがあります。

STOP お願い 使用方法・設置環境について

落としたり強い衝撃を加えないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。
汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でカラぶきをしてください。

極端に寒いところ、ちりやほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所に置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

テレビ・ラジオ・こたつ・アンプ・スピーカボックス・電気カーペットの上など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

- この装置は、クラスA情報技術装置です。本装置を家庭環境で使用すると電波妨害を起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI－A
- ご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。
- 本装置の仕様は国内向けになっていますので、海外でご利用いただくことはできません。
  This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.
- 一般電話回線と本装置の間に、アダプタ（ナンバーディスプレイアダプタ、ターミナルアダプタなど）が接続された場合、アダプタなどが一般電話回線の仕様と完全に一致していないため、本装置が正常に動作しないことがあります。
- 正常な使用状態で本装置に故障が生じた場合、当社は本装置の保証書に定められた条件に従って修理いたします。
  ただし、本装置の故障・誤動作または不具合あるいは停電等の外部要因により、録音・通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害や、本装置に録音された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本装置を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもとになりますので絶対におやめください。
- この取扱説明書、ハードウエア、ソフトウエアおよび外観の内容については将来予告なしに変更することがあります。

お使いになる前に

■セットの確認

次のものがそろっていることをお確かめください。万一、セットに足りないものがあったり、取扱説明書に落丁・乱丁があったときには、販売店または当社営業所へご連絡ください。当社営業所につきましては、当社ホームページ（http://www.takacom.co.jp）の「営業拠点」をご覧ください。

■取り付けについて

- 共同電話、公衆電話、地域集団電話ではご利用になれません。
- 規格の異なる海外ではご利用になれません。

■停電について

約10日以上停電すると内蔵の時計が止まり、リセットされます。通電後、年月日時刻を合わせてください。録音内容や各種データが消えることはありません。時計が止まるまでの時間は、ご利用状況により変わることがあります。

■システム概要

● 応答専用機能

あらかじめ録音したメッセージを回線に流します。メッセージは9種類録音することができ、そのうち1種類をあらかじめ指定しておきます。3回線同時に着信があっても同時に応答し、それぞれの回線に冒頭からメッセージを流します。

● リモコン機能

離れた場所から電話回線を使用してメッセージの録音/再生、メッセージの切り替え、応答の入り/切りなどができます。

● 保留音機能

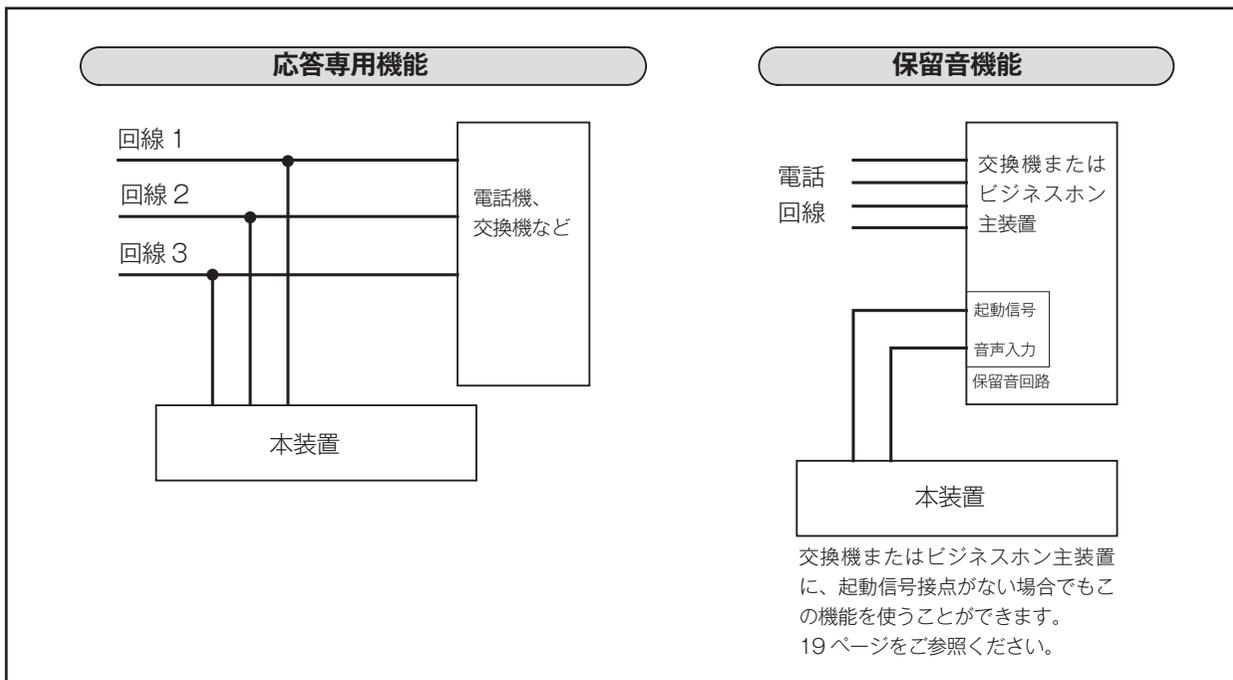
交換機やビジネスホン主装置に保留音を送出します。この保留音機能用に専用のメッセージを録音することができます。この保留音機能は、応答専用機能と併用することができます。

応答専用機能

回線1
回線2
回線3
電話機、
交換機など
本装置

保留音機能

電話
回線
交換機または
ビジネスホン
主装置
起動信号
音声入力
保留音回路
本装置

交換機またはビジネスホン主装置に、起動信号接点がない場合でもこの機能を使うことができます。
19ページをご参照ください。

● **プログラムタイマー（オプション）**

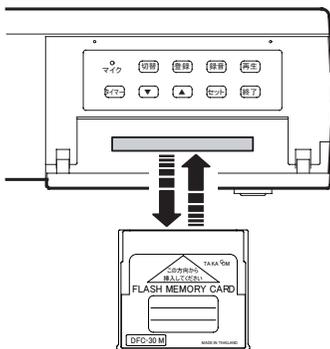
別売の、パソコン用ソフトとカードライトアダプタを利用すると、プログラムタイマーを利用することができます。応答の入り / 切りやメッセージの切り替えが自動で行えます。

■フラッシュメモリーカードについて

● **入れ方**

1　操作部カバーを開けます。
2　ラベル面を上にして、フラッシュメモリーカードをメモリーカードスロットにしっかり奥まで差し込みます。

● **出し方**

1　操作部カバーを開けます。
2　フラッシュメモリーカードの両端を手でつまんで引き出します。取り出すときは次のことに注意してください。
・応答ランプが消えていることを確認してください。点灯しているときは、[終了] ボタンを押して消してください。
（11 ページをご参照ください。）
・録音中 / 再生中でないことを確認してください。録音中 / 再生中のときは作業を終えてください。（10 ページをご参照ください。）

● **何が記録されているか**

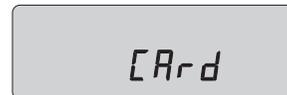
・録音した各種メッセージ
・機能登録データなどの各種情報
・応答件数のデータ
・プログラムタイマー (オプション) のデータ

● **どのような種類があるか**

・ＤＦＣ－３０Ｍ
　録音容量約３０分

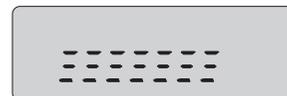
STOP お願い

● 本装置はフラッシュメモリーカードが入っていないと動作しません。
入っていなかったり、入れ方が不完全なときはディスプレイの表示が次のようになります。

CArd

（点滅）

● カードを抜くときは、ディスプレイに時刻が表示され、応答ランプが消えていることを確認してください。

ワンポイント

● フラッシュメモリーカードを入れると、画面は数秒から十数秒間下のような表示になります。

（点滅）

● 旧バージョンのデータ入力ソフトをご利用の場合は、フラッシュメモリーカード DFC-30M をご利用になると「ピピ・・」とアラーム音が鳴りディスプレイに [C Err1] が点滅し、ご利用になることができません。詳細は23ページをご参照ください。

各部の名前とはたらき

■前面

① ② ③ ④

応答

TAKACOM
AT-D39S II

マイク テープ

タイマー 保留音

⑧ ⑦ ⑥ ⑤

カバーの右側を手前に
引いて開ける。

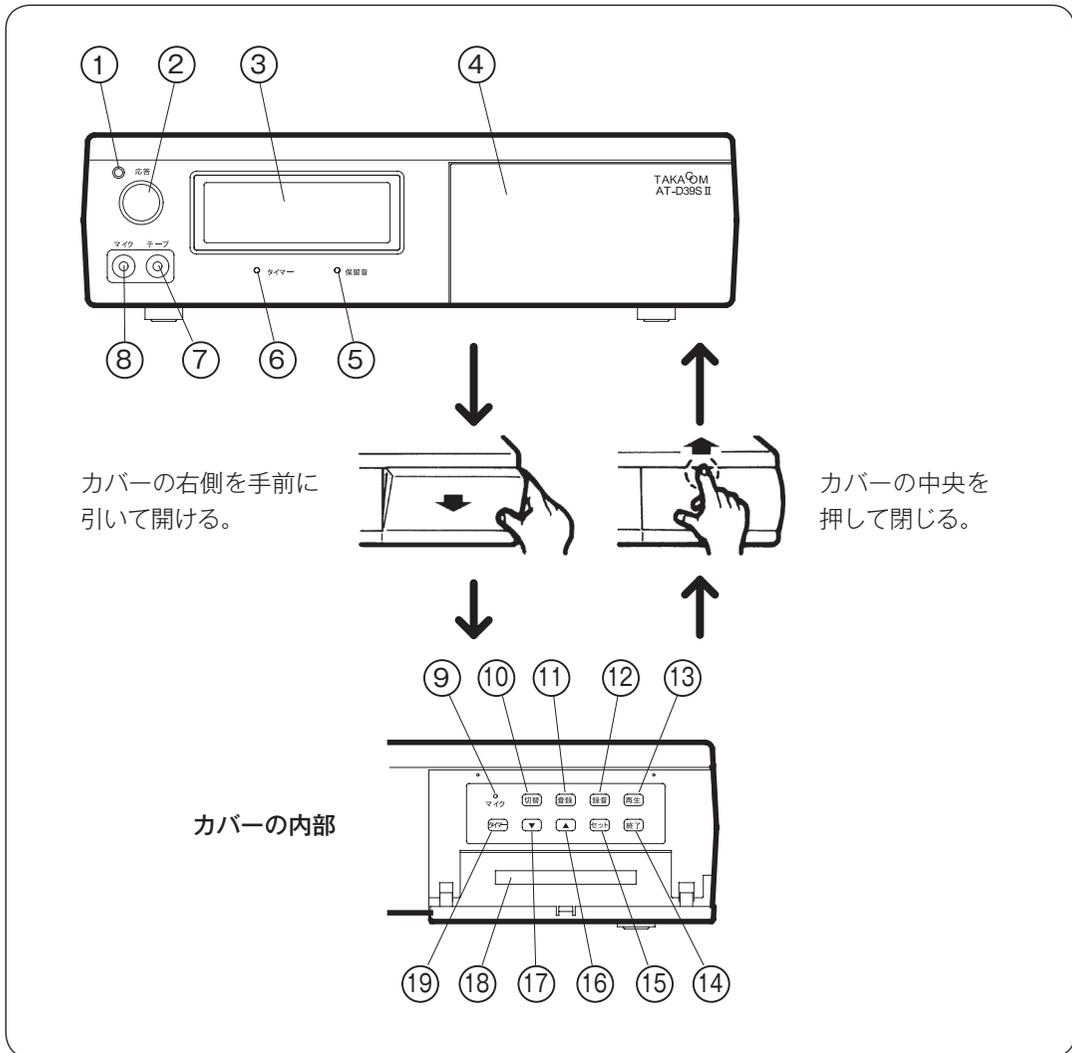
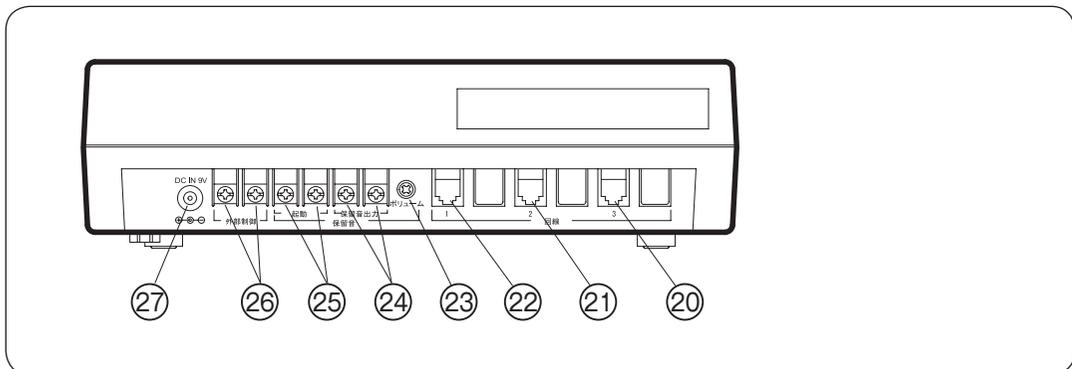
カバーの中央を
押して閉じる。

⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬

カバーの内部

マイク 切替 登録 録音 再生

タイマー ▼ ▲ セット 終了

⑲ ⑱ ⑰ ⑯ ⑮ ⑭

■後面

番号	名称	主なはたらき
1	応答ランプ	応答モードのとき点灯します。
2	応答ボタン	応答モードにするときに押します。
3	ディスプレイ	現在時刻や、着信件数を表示します。各種設定時にはその内容を表示し、録音再生中は秒数を表示します。
4	操作部カバー	開けると機能スイッチなどがあります。
5	保留音ランプ	保留音の録音が完了したときに点灯します。保留音を送出中は点滅します。
6	タイマーランプ	プログラムタイマー*の状態を表示します。
7	テープジャック	外部の音源を録音するときに使用します。
8	マイクジャック	外部マイクを接続します。
9	内蔵マイク	内蔵マイクの開口部です。
10	表示切替ボタン	現在時刻／着信件数の表示を切り替えるときに使用します。
11	登録ボタン	機能登録をするときに押します。
12	録音ボタン	メッセージを録音するときに押します。
13	再生ボタン	メッセージを再生するときに押します。
14	終了ボタン	各種の動作を終了するときに押します。
15	セットボタン	機能登録をするときに、入力した値を決定するときに押します。
16	▲ボタン	登録時に項目を選択するときに使用します。
17	▼ボタン	
18	メモリーカードスロット	メッセージとプログラムタイマー*のデータを格納するフラッシュメモリーカードを挿入します。
19	タイマーボタン	プログラムタイマー*の入り／切りをします。
20	回線接続ジャック(回線3)	電話回線を接続します。(2/6 モジュラージャック)
21	回線接続ジャック(回線2)	
22	回線接続ジャック(回線1)	
23	保留音ボリューム	保留音の音量を調節します。
24	保留音出力端子	保留音用メッセージをビジネスホンや交換機へ出力します。 (インピーダンス＝8Ω、最大出力＝+8dBm)
25	保留音起動端子	ビジネスホンや交換機からの、保留音起動信号を接続します。 (接点容量10V、10mA以上の接点を接続してください。)
26	外部制御端子	応答の入り/切りを外部から行うときに、切り替え信号を接続します。 (接点容量10V、10mA以上の接点を接続してください。)
27	電源アダプタジャック	添付の電源アダプタを接続します。

＊：プログラムタイマーはオプション機能です。２２ページをご参照ください。

時計を合わせる

本装置をオプションのプログラムタイマーモードで使用するときには、内蔵の時計を合わせる必要があります。プログラムタイマーを使用しないときは、合わせなくても本装置を運用することができます。

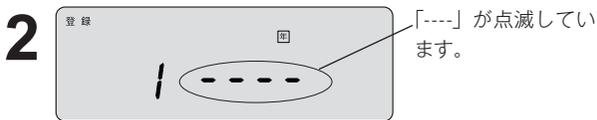
例：２０１２年３月５日１４時３８分にあわせます。

1

数字が全部点滅しています。

最初に電源を入れ、フラッシュメモリーカードを入れた状態です。
[**登録**] ボタンに続いて [**セット**] ボタンを押します。

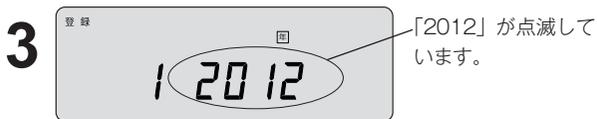
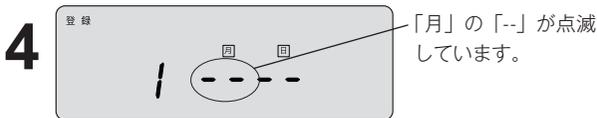
2

「----」が点滅しています。

まず、「年」を合わせます。[▼] または [▲] ボタンを押して、合わせる年を表示します。

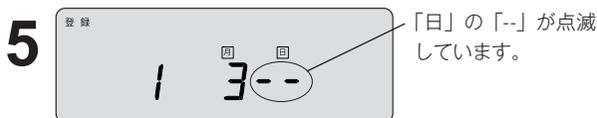
3

「2012」が点滅しています。

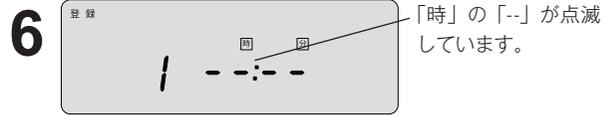
[**セット**] ボタンを押します。

4

「月」の「--」が点滅しています。

次に、「月」を合わせます。[▼] または [▲] ボタンを押して、合わせる月を表示します。
続いて [**セット**] ボタンを押します。

5

「日」の「--」が点滅しています。

次に、「日」を合わせます。[▼] または [▲] ボタンを押して、合わせる日を表示します。
続いて [**セット**] ボタンを押します。

6

「時」の「--」が点滅しています。

同様にして「時」と「分」を合わせます。
「分」を合わせて [**セット**] ボタンを押したときにゼロ秒になります。「時」は 24 時間制で合わせます。

7

「2」が点滅しています。

[**終了**] ボタンを押します。

8

合わせた日付と時刻が表示されます。
「：」が点滅し秒をカウントしています。
曜日は自動的に表示します。

待機画面が表示されます。

ワンポイント

- 時刻を修正するときは、手順 1 から同様の操作をしてください。
- 操作の途中で２分間何も操作をしないと、それまでの処理をキャンセルし、待機画面に戻ります。
- 停電が約 10 日以上続くと時計がリセットされます。そのときは、通電後合わせなおしてください。
- 途中で [**終了**] ボタンを押すと、それまでの操作をすべてキャンセルし、手順 1 の [**登録**] ボタンを押した状態に戻ります。

メッセージの録音 / 再生

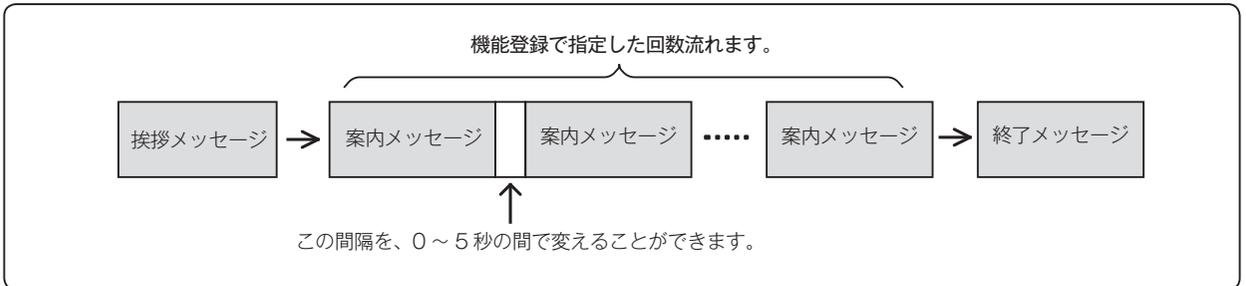
メッセージの構成

本装置は 12 種類のメッセージを録音することができ、下表のような役割があります。

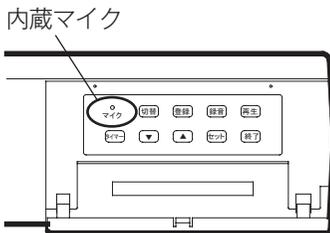
● 回線には回数を指定して流すことができます。回数の指定方法は、16 ページをご参照ください。

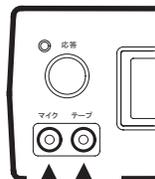
● 案内メッセージを繰り返すときに、機能番号「6」で指定したポーズ（0 ～ 5 秒）が入ります。指定方法は16 ページをご参照ください。

●「挨拶メッセージ」と「終了メッセージ」が録音されていなくても、「案内メッセージ」は流れます。

メッセージ番号	内容
1 ～ 9	案内メッセージで、あらかじめ番号を一つ指定して回線に流します。
10	挨拶メッセージで、このメッセージを録音してあると案内メッセージの前に回線に流れます。録音しないで運用することもできます。
11	終了メッセージで、このメッセージを録音してあると案内メッセージの後に回線に流れます。録音しないで運用することもできます。
12	保留音メッセージで、保留音専用です。

録音の準備

本装置はマイクを内蔵しています。従って特別な録音用の機器を接続をしなくても録音ができます。
テープレコーダなどに録音したメッセージをコピーするときや、音質を重視するために外部マイクを接続するときは次のように接続します。
また、外部マイクとテープレコーダなどを両方接続するとミキシング録音ができます。

内蔵マイクの位置

マイクから 20 ～ 30cm の距離で話してください。

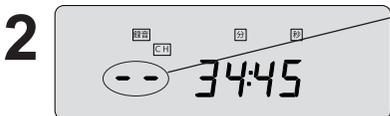
外部機器の接続

接続できる機器の仕様は、「仕様」（21 ページ）をご覧ください。

録音

必要であれば、あらかじめテープレコーダなどを接続しておきます。
例：メッセージ番号「1」に録音します。

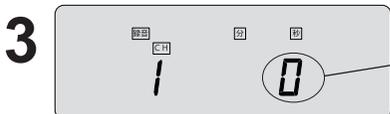
1

待機画面のときに [**録音**] ボタンを押します。

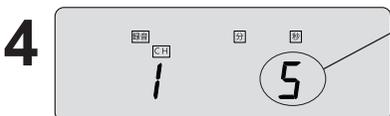
2

メッセージ番号の「--」が点滅しています。表示の時間は、未使用の録音時間です。

[▲] または [▼] ボタンを押して、録音するメッセージ番号を表示します。
目的のメッセージ番号が表示されたら、[**セット**] ボタンを押します。

※ 番号を切り替えると、該当のメッセージの録音時間が表示されます。未録音の時は、「0」が表示されます。

3

※ メッセージ番号 1 の表示例
録音時間「0」が点滅しています。

録音のスタート待ちです。
[**セット**] ボタンを押すと録音が始まります。

4

録音時間がカウントされます。

[**終了**] ボタンを押すと録音が終わります。

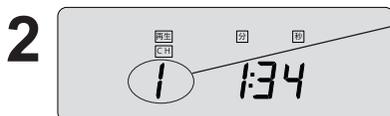
※ 手順2に戻り別のメッセージの録音ができます。
※ [**終了**] ボタンを押すと、待機画面になります。

再生

例：メッセージ番号「1」を再生します。

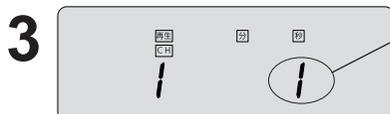
1

待機画面のときに [**再生**] ボタンを押します。

2

「1」が点滅しています。表示の時間は、該当メッセージの録音時間です。

[▲] または [▼] ボタンを押して、再生するメッセージ番号を表示します。（例では 1 を表示します。）
[**セット**] ボタンを押します。

※ 番号を切り替えると、該当のメッセージの録音時間が表示されます。
※ 未録音のメッセージはスキップし、表示されません。

3

再生時間がカウントされます。

再生が始まります。音量は、[▲] または [▼] ボタンで３段階の調節ができます。

※ 再生が終わると手順２に戻り、別のメッセージの再生ができます。
※ [**終了**] ボタンを押すと、待機画面になります。

ワンポイント

- テープレコーダからコピーしたりミキシング録音をするときは、手順3でテープレコーダを再生します。本装置のスピーカから再生音がモニターできます。モニター音は [▲] または [▼] ボタンで３段階の音量調節ができます。
- 録音をしようとしたメッセージが録音済みのときは、手順２で [**セット**] ボタンを押すと自動的に古いメッセージを消去し手順３に移ります。この間数秒かかります。
また、手順３に移ったときに [**終了**] ボタンを押すと、消去だけができます。

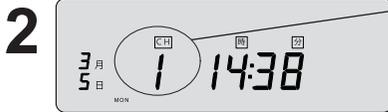
消去中の画面

- 再生を途中で終わるときは、[**終了**] ボタンを押します。手順２に戻ります。
- 操作の途中で、２分以上何もボタンを押さないと、それまでの操作をキャンセルし、待機画面に戻ります。
- メッセージの消去 / 録音中は、保留音の送出が止まります。

応答モードにする

1

待機画面のときに [**応答**] ボタンを押します。

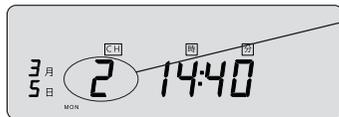
2

メッセージ番号「1」で、応答モードになりました。着信があると、応答します。

「応答」ランプが点灯します。

■応答中の画面表示

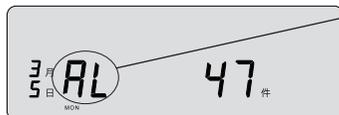
ベル信号がくると点滅します。
応答しメッセージを流している間、点灯します。

■応答モード中の操作

● メッセージを変更する

点滅します。

[▲] または [▼] ボタンを押すと、メッセージ番号が点滅しながら変わります。目的の番号が表示されたら、[**セット**] ボタンを押します。
応答中の回線には変更前のメッセージが流れ、新しい着信から変更後のメッセージが流れます。

※ 5秒以内に [**セット**] ボタンを押さないと、それまでの操作をキャンセルします。
※ オプションのプログラムタイマーを使用しているときは、この方法でメッセージを変更することはできません。

●着信回数をみる

AL: 全回線の合計
1L: 回線 1 のデータ
2L: 回線 2 のデータ
3L: 回線 3 のデータ

[**切替**] ボタンを押すと、着信回数を表示し押すたびにデータが変わります。 1 巡すると、時刻の画面に戻ります。上の画面は、「全回線の合計」が 47 件であったことを示しています。
データは、応答にセットしたときにゼロ・クリアされます。

応答モードを終わる

1

応答モード中に [**終了**] ボタンを押します。

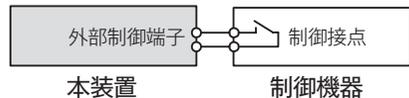
2

メッセージ番号表示が消えて、「応答」ランプが消灯します。

■応答中の回線があると

該当の回線に規定の回数メッセージを流します。その間、応答ランプが点滅します。
新しい着信には応答しません。

外部機器による入り / 切り

本装置の外部制御端子に制御機器を接続します。

● 制御機器の接点が ON になると、本装置が応答モードになります。
● 制御機器の接点が OFF になると、応答モードを終わります。

※ 応答モードになったときに本装置の [**終了**] ボタンを押すと、応答モードを終わります。再度、接点が OFF から ON になると応答モードになります。
※ 接続の詳細は、18 ページをご参照ください。
※ 接点の仕様は、21 ページをご参照ください。

ワンポイント

● 回線に応答する条件を変更することができます。主な項目は次の通りです。変更方法などは、16 ページをご参照ください。
- ・応答までのベル回数
- ・メッセージを流す回数
- ・メッセージを繰り返し流すときのメッセージとメッセージの間隔（秒）
- ・回線に応答している時間の上限（分）

● 着信回数は、最大 99,999 件までカウントます。それを越えると、ゼロに戻りカウントします。

リモートコントロール

概要

離れた場所から、電話回線経由で本装置をリモートコントロールすることができます。

- 操作はプッシュホン信号を使いますので、プッシュホン信号が出せる電話機から、本装置に電話をかけてください。
- コントロールできる内容は次の通りです。
  - ・メッセージの録音と再生
  - ・メッセージの切り替え
  - ・応答の入り / 切り
- リモコン操作ができるのは、回線３に着信したときだけです。回線３に接続された電話番号に電話をかけてください。

暗証番号の登録

操作には暗証番号が必要です。あらかじめ登録しておきます。番号は、４桁～８桁の任意の桁数を選ぶことができます。
例として「１２３４５」に合わせてみます。

1

3月 5日 MON 時 分 14:38

待機画面のときに [**登録**] ボタンを押します。

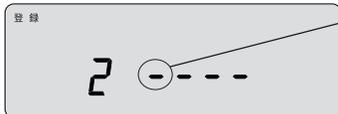
2

登録 年 1 2012

機能番号の「1」が点滅しています。

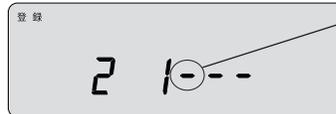
[▲] または [▼] ボタンを押して、機能番号を「2」（リモコン暗証番号登録）に合わせます。
続いて、[**セット**] ボタンを押します。

3

登録 2 ----

暗証番号１桁目の「−」が点滅しています。

[▲] または [▼] ボタンを押して、1 桁目の番号「1」に合わせ［**セット**］ボタンを押します。

4

登録 2 1---

暗証番号２桁目の「−」が点滅しています。

同様にして２桁目から４桁目を合わせます。

5

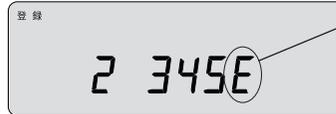
登録 2 234E

右端の「E」が点滅しています。

※ 番号が４桁のときはここで [**セット**] ボタンをすと手順６になります。

[▲] または [▼] ボタンを押して、5 桁目の番号「5」を表示させます。続いて、[**セット**] ボタンを押します。

6

登録 2 345E

右端の「E」が点滅しています。

もう一度 [**セット**] ボタンを押すと登録完了です。
続いて、[**終了**] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

ワンポイント

- **６桁以上登録するとき :**
  手順５を繰り返します。
- **８桁登録するとき :**
  ８桁目の数字を合わせ [**セット**] ボタンを押すと自動的に登録が完了します。[**終了**] ボタンを押し待機画面に戻ります。
- **登録済みの暗証番号を消すとき :**
  手順３で、１桁目を「E」に合わせ [**セット**] ボタンを押します。続いて [**終了**] ボタンを押します。

リモコン操作

■キーオープン

リモコン操作ができるように、暗証番号を使ってキーオープンをします。

1 本装置の回線3に接続してある電話番号に電話をします。

2 本装置が応答しメッセージが聞こえてきたら、暗証番号をダイヤルします。

※ あらかじめ登録してある暗証番号と一致すると、「ピーー、ピッピッピッピッ」という信号音が聞こえます。

3 本装置は、10秒間「操作待ち」になります。この10秒の間に操作の信号がこないと本装置は電話回線を切ります。

■メッセージの録音

「操作待ち」の間に操作します。

1 録音するメッセージ番号に続いて「*」をダイヤルします。メッセージ番号は2桁で指定します。

※ たとえば、メッセージ番号「8」を録音するときは、「0」「8」「*」とダイヤルします。

2
1 本装置から録音準備中の信号音「ピッ、ピッ、ピッ」が数秒聞こえます。
2 準備が完了すると、信号音「ピーー」が聞こえます。
3 信号音が止まると、本装置は録音状態になります。録音内容をお話ください。

3 録音を終わるときは、「#」をダイヤルします。

※「ピーー、ピッピッピッピッ」という信号音が聞こえ10秒間の「操作待ち」になります。

■メッセージの再生

「操作待ち」の間に操作します。

1 再生するメッセージ番号に続いて「#」をダイヤルします。メッセージ番号は2桁で指定します。

※ たとえば、メッセージ番号「8」を再生するときは、「0」「8」「#」とダイヤルします。

2 録音済みのメッセージが聞こえてきます。

※ 再生し終わると「ピッピッピッピッ」という信号音が聞こえ10秒間の操作待ちになります。

※ 再生を途中で終わるときは「#」をダイヤルします。すぐに再生を終わり「ピッピッピッピッ」という信号音が聞こえ、10秒間の「操作待ち」になります。

※ 録音されていないメッセージ番号を指定すると、直ちに「ピッピッピッピッ」という信号音が聞こえ10秒間の「操作待ち」になります。

ワンポイント

● キーオープンについて
- 手順2で暗証番号の1桁目が登録と一致すると、メッセージが止まります。
- 16桁以内で正しい暗証番号を入れないと、本装置は強制的に回線を切ります。
- 手順2からはプッシュホン信号を送ってください。ダイヤル回線で電話をかけた場合、暗証番号をダイヤルする前にプッシュホン信号に切り替えてください。

■メッセージの切り替え

回線に流すメッセージ番号を切り替えます。
「操作待ち」の間に操作します。

「5」「流したいメッセージ番号」「9」の順にダイヤルします。たとえば、メッセージ番号7に切り替えたいときは、「5」「7」「9」とダイヤルします。

※ 正常に切り替えができたとき：
「ピーー、ピッピッピッピッ」という信号音が聞こえ 10 秒間の「操作待ち」になります。

※ 正常に切り替えができなかったとき：
録音されていないメッセージ番号を指定したときは「ピッピッピッピッ」という信号音が聞こえ 10 秒間の「操作待ち」になります。

■応答の入り / 切り

本装置の応答状態を切り替えます。
「操作待ち」の間に操作します。

● 応答モードにするとき

「7」「1」「9」とダイヤルします。

※ 正常に切り替えができたとき：
「ピーー、ピーー」という信号音が聞こえ電話が切れます。

※ 正常に切り替えができなかったとき：
応答メッセージが録音されていないなどの理由で、応答モードに切り替わらなかったときは「ピッピッピッピッ」という信号音が聞こえ 10 秒間の「操作待ち」になります。

● 応答モードを終わるとき

「7」「0」「9」とダイヤルします。

※ 受付が完了すると「ピッピッピッピッ（約4秒）、ピーー」という信号音が聞こえ電話が切れます。

● プログラムタイマーを使うとき（オプション）

「7」「2」「9」とダイヤルします。

※ 正常に切り替わったとき：
「ピーー、ピーー」という信号音が聞こえ電話が切れます。

※ 正常に切り替わらなかったとき：
有効なプログラムがない、などの理由でタイマーが有効にならなかったときは、「ピッピッピッピッ」という信号音が聞こえ、10 秒間の「操作待ち」になります。

※ プログラムタイマーについては、22 ページをご参照ください。

■本装置が応答モードでないときに回線に応答させる方法

応答モードでないときは、次のようにしてキーオープンをします。

● 準備

機能番号「10」の、応答モードでないときの処理を、登録値「0」から「1」または「2」に変更しておきます。詳細は16 ページをご参照ください。

● 操作

1 本装置の回線3に接続してある電話番号に電話をします。45 秒または 90 秒そのまま待ちます。

* 秒数は機能番号「10」の登録値により異なります。

2 本装置が応答したら「ピッ、ピッ」という信号音が 10 秒間聞こえます。その間に暗証番号をダイヤルします。

※ あらかじめ登録してある暗証番号と一致すると、「ピーー、ピッピッピッ」という信号音が聞こえます。

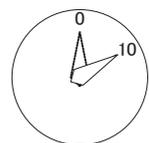
3 本装置は、10 秒間の「操作待ち」になります。通常のリモコン操作ができます。

ワンポイント

● 本装置がリモコン信号を受信すると､必ず「ピッピッピッピッ」や「ピーー」という信号音を返します。この音が聞こえないときは、何らかの理由で本装置にリモコン信号が届いていないことになります。再度リモコン操作をしてください。

● リモコン信号の間隔は、1.5 秒以上あけないでください。正常に受信できません。

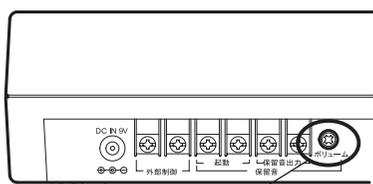
● リモコンでメッセージの録音をしている間は、ほかの回線に電話があっても応答しません。また保留音の送出が止まります。

● ほかの回線にメッセージを流しているあいだは、リモコンでメッセージを録音することができません。手順2で「ピッピッピッピッ」という信号音が聞こえ 10 秒間の「操作待ち」になります。

本装置を交換機やビジネスホン主装置の保留音として使用します。この機能は、応答専用機能と同時に使用することができます。

設置

19ページの「保留音としての接続」に従って取り付けます。接続は、販売店にご依頼ください。

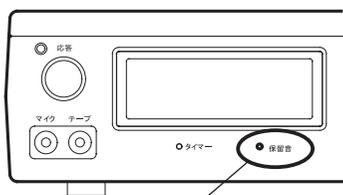
接続する交換機やビジネスホン主装置に起動信号を出す機能がないときは、本装置の起動端子をショートしてご利用ください。

保留音の大きさは、後部のボリュームで調節することができます。

保留音ボリューム
- ・左に回すと小さくなります。
- ・右に回すと大きくなります。

メッセージの録音

メッセージ番号「12」が保留音として使用するメッセージです。

10ページの「録音」で、メッセージ番号を「12」に合わせて録音します。

※ メッセージ番号「12」に録音すると、「保留音」ランプが点灯します。

保留音ランプ

運用

応答モードで「ある／なし」に関わらず、保留音を交換機やビジネスホン主装置に送出します。

保留音送出中は、「保留音」ランプが点滅します。

● 保留音ランプの状態

ランプの状態	本装置の状態
点　灯	保留音（メッセージ番号 12）の録音が完了
点　滅	交換機などに保留音を送っている
消　灯	保留音（メッセージ番号 12）が録音されていない

お願い

● フラッシュメモリーカードを抜かないでください。保留音もフラッシュメモリーカードに録音するため、カードが入っていないと保留音機能も停止します。

ワンポイント

● 保留音を繰り返すときの間隔（ポーズ）を、機能番号「7」を変えることにより調節することができます。
16ページをご参照ください。

この間隔を０～５秒の間で変えることができます。

● 案内用などのメッセージを録音中は、保留音の送出が止まります。

機能設定を変える

本装置のいろいろな動作条件を変更することができます。

設定一覧

機能番号	内容	値の意味・範囲	初期値	参照ページ
1	内蔵の時計をあわせます	２００５年１月１日から ２０９９年１２月３１日	なし	8
2	リモコン暗証番号をあわせます	４～８(桁)	なし	12
3	応答までのベル回数をかえます	１～２０(回)	1	17
4	回線に流す案内メッセージ番号をかえます	１～９	1	17
5	案内メッセージを流す回数をかえます	１～９(回)	1	17
6	案内メッセージを繰り返す間隔(ポーズ)をかえます	０～５(秒)	1	17
7	保留音を繰り返す間隔(ポーズ)をかえます	０～５(秒)	1	17
8	回線に応答している時間の上限をかえます	１～９９(分)	30	17
9	短いベル信号を無視する/検出するをきめます	０、１ (０＝無視、１＝検出)	0	17
10	応答モードでないときに着信に応答する/しないをきめます。応答するときは、何秒後に応答するかもきめます	０、１、２ (０＝しない、１＝４５秒後、２＝９０秒後)	0	17
11	切断信号を、無視する/検出するをきめます。検出するときは、信号の長さを指定します	０、１、２ (０＝無視、１＝６ｍｓ、２＝３５０ｍｓ)	1	17
12	ダイヤルパルスによる誤起動防止が、有効/無効をきめます	０、１ (０＝無効、１＝有効)	1	17
13	応答モードの繰り上げを、する/しないをきめます	０、１ (０＝しない、１＝する)	0	オプション

※ 機能番号「13」はオプションのプログラムタイマーを使用したときに有効です。

変更方法

次のようにして、値を変更します。
例：機能番号「５」のメッセージを流す回数を、初期値の１回から３回に変更します。

1

待機画面のときに [**登録**] ボタンを押します。

2

機能番号の「1」が点滅しています。

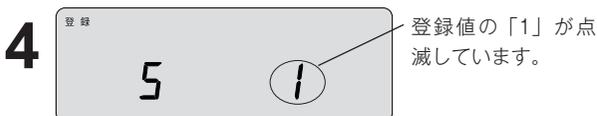
[▲] または [▼] ボタンを押して、機能番号を「5」（メッセージを流す回数）に合わせます。

3

機能番号の「5」が点滅しています。

［**セット**］ボタンを押します。

4

登録値の「1」が点滅しています。

[▲] または [▼] ボタンを押して、登録値を「3」に合わせます。
次に［**セット**］ボタンを押します。

5

次の機能番号の登録画面になります。

手順２に戻り、ほかの機能を変更することができます。
［**終了**］ボタンを押すと、待機画面に戻ります。

お願い

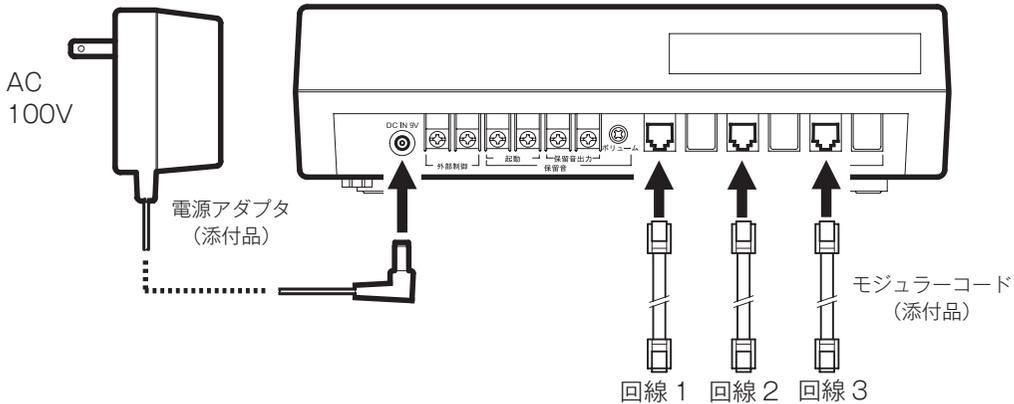
- 機能番号「9」・「11」・「12」はメンテナンス用です。
  - ・機能番号「9」と「12」については、次ページ「電話着信時に応答しないときは・・・・」をご覧ください。
  - ・機能番号「11」は、本装置がメッセージを送出中に回線が切れてしまう場合などに変更します。
- 機能番号「4」で、本装置が回線に流す案内メッセージを変更することができます。
  該当メッセージが録音されていなくても指定が可能です。このまま録音がない状態で [**応答**] ボタンを押すと次のようなエラーが出て応答モードにすることができません。メッセージを録音するか、機能設定を変更してください。

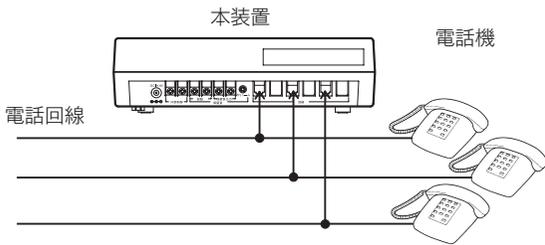
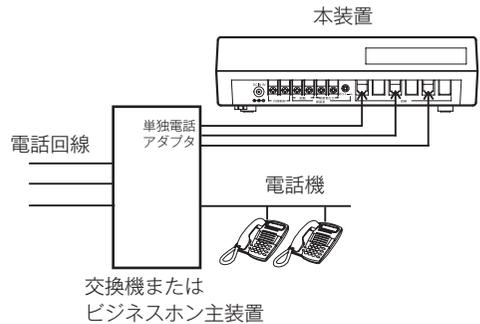
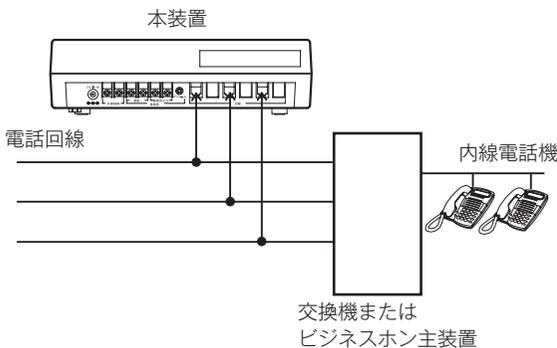
未録音のメッセージ番号

ワンポイント

- 機能番号「3」以降は、手順「２」で合わせる機能番号を変えることにより、同じ手順で変更することができます。
  機能番号「１」の内蔵時計は８ページを、機能番号「２」のリモコン暗証番号は 12 ページをご参照ください。
- 機能番号「５」と「８」は、早いほうの条件で回線を切ります。
  たとえば、メッセージが２分録音してあり、機能番号「５」は２回に、「８」は３分になっていると、３分で回線を切ります。

設置工事

回線と電源の接続

■回線の接続例

● 単独回線の場合

● 交換機またはビジネスホンの内線接続の場合

● 交換機またはビジネスホンの外線接続の場合

電話着信時に応答しないときは・・・・

ビジネスホンの単独電話アダプタや交換機の内線側などに接続したときに着信動作しない場合は、次の機能設定の変更を行ってください。変更方法などは16～17ページをご参照ください。

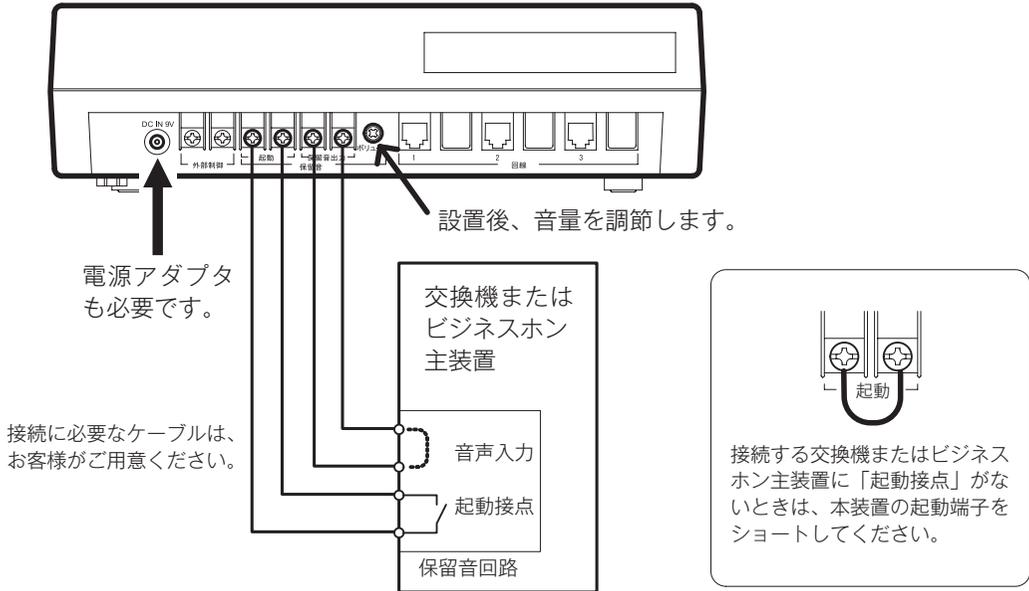
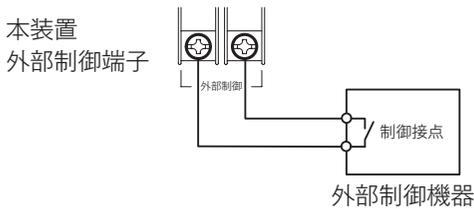
① 機能番号９「短いベル信号を無視する／検出する」を“検出（1）”に変更します。

※ 変更後も着信動作しない場合は、

② 機能番号12「ダイヤルパルスによる誤起動防止」を“無効（0）”に変更します。

状態が改善されない場合は、最寄の当社営業所へお問い合わせください。

保留音としての接続

保留音機能は、応答機能と共用できます。

外部制御端子

● 外部制御機器の接点が ON になると、本装置が応答モードになります。

● 外部制御機器の接点が OFF になると、応答モードを終わります。

※ 応答モードになったときに本装置の [**終了**] ボタンを押すと、応答モードを終わります。再度、接点が OFF から ON になると応答モードになります。

故障とお考えになる前に

こんなときは	お確かめください	参考ページ
ディスプレイに表示がでない	電源アダプタが電源コンセントからはずれていませんか	19
ディスプレイに「CArd」と出て操作できない	① フラッシュメモリーカードは入っていますか ② 奥までしっかり入っていますか	5
フラッシュメモリーカードは入っているが、ディスプレイに「CArd」と出て操作できない	フラッシュメモリーカードは、本装置に使える種類ですか	5
応答ボタンを押してもディスプレイに「 Err 」と出て応答ランプが点灯しない	使用するメッセージは録音されていますか	17，9
リモコン操作ができない	① 暗証番号は登録されていますか ② 回線３に電話をしましたか ③ プッシュホン信号が出せる電話機で操作しましたか	12
リモコンで録音や再生ができない	メッセージ番号は２桁で入力していますか	13
時計が止まって、表示が点滅している	停電や電源アダプタがコンセントからぬけるなどで、通電が 10 日以上止まっていませんか	8
アラームが突然鳴り出す	スケジュールデータを登録してから 10 年経過していませんか	23

■ディスプレイのエラー表示と参照ページ

CArd （点滅）

● フラッシュメモリーカードが入っていないか、または、入り方が不完全です。(5 ページ)
● 本装置で使用できないフラッシュメモリーカードが入っています。(5 ページ)

未録音のメッセージ番号 → 8 Err

● 応答ボタンを押したときに、録音されていないメッセージ番号が指定されています。 (17 ページ)

● システムの異常が発生しました。エラー番号をメモされた上、販売店または当社のサービス担当にご連絡ください。

仕様

項目		仕様
電話回線	収容回線数	最大３回線
	回線種別	アナログ一般回線
	接続方式	モジュラー接続
	直流抵抗値	２７５Ω
応答メッセージ	録音媒体	フラッシュメモリーカード
	録音方式	μ -law
	サンプリング	8bit、8kHz
	メッセージ数	案内用 =9、挨拶用＝１、終了用＝１、保留音用＝１
	総録音時間	３０分 (DFC-30M)
外部マイク端子	形状	3.5 φミニジャック
	インピーダンス	６００Ω
	入力レベル	－５５ｄＢｍ
テープ端子	形状	3.5 φミニジャック
	インピーダンス	５０ｋΩ
	入力レベル	０ｄＢｍ
保留音出力端子	最大出力レベル	＋８ｄＢｍ
	インピーダンス	８Ω
保留音起動端子		無電圧メーク入力（接点容量：ＤＣ１０Ｖ、１０ｍＡ以上）
外部制御端子		無電圧メーク入力（接点容量：ＤＣ１０Ｖ、１０ｍＡ以上）
時計精度		月差±５秒（通電時、２５℃）
外形寸法		幅２６０mm　×　奥行２２０mm　×　高さ７５mm
質量		約 １ｋｇ
電源	電源	ＡＣ１００Ｖ±１０Ｖ、５０／６０Ｈｚ
	消費電力	最大約７Ｗ
	停電時の時計保証	約１０日

オプション機能

本装置はオプションで次の機能を持っています。お使いになる場合は、別売りのカードライトアダプタ「CWA-100（パソコンソフト AT-D39S データ入力ソフト添付）」が必要です。販売店または当社営業所にご依頼ください。

プログラムタイマー

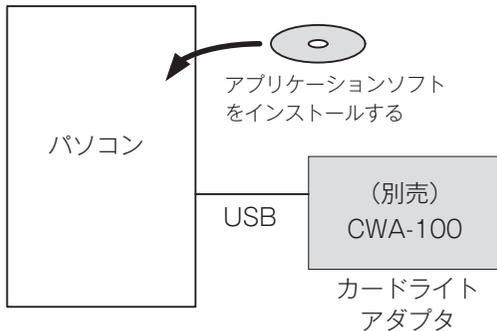
■概要

本装置の応答モードの入り / 切りとメッセージの切り替えを自動で行います。

■追加するもの

お手持ちのパソコンに：

① アプリケーションソフトをインストールします。

② フラッシュメモリーカードにデータを書き込む、別売りのカードライトアダプタ「CWA-100」を接続します。

■手順

1 パソコンで、プログラムを作成します。

2 カードライトアダプタに挿入してあるフラッシュメモリーカードに、プログラムを書き込みます。

3 書き込んだフラッシュメモリーカードを本装置に装着すると、プログラムが本装置にインストールされます。

4 本装置の [**タイマー**] ボタンにつづいて [**応答**] ボタンを押すとプログラムタイマーが稼働し、自動運用ができます。

■ランプの状態

タイマーランプの点灯状況（点灯、点滅、消灯）でタイマーの稼働状況を知ることができます。

ランプの状態		本装置の状態	
タイマー	応答	タイマーの稼動	応答モード
点灯	点灯	○	○
点灯	点滅	○	×
点滅	消灯	×	―

■関連する機能登録

機能番号「１３」: 応答モードの繰り上げ

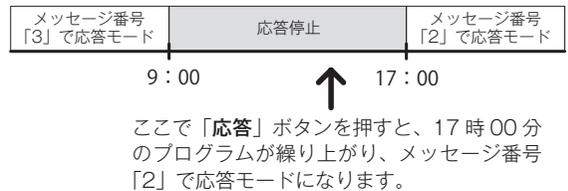
・**内容：**

登録値を「０」から「１」に変更すると、応答モードの繰り上げができます。

・**繰り上げの操作方法：**

タイマーが稼働していて、応答停止のとき（応答ランプが点滅しているとき）に [**応答**] ボタンを押します。

直後のプログラムを繰り上げて実行します。

ここで「**応答**」ボタンを押すと、17 時 00 分のプログラムが繰り上がり、メッセージ番号「2」で応答モードになります。

※ 日をまたいで繰り上げることはできません。

※ 繰り上げ実行後は、通常のプログラムに戻ります。

※ 応答モードの終了を繰り上げることはできません。

■タイマーの内容を確認する

タイマーが稼働中に [▲] ボタンを押すと、直前に実行されたプログラムの内容を表示します。

点滅

※ 17 時 30 分にメッセージ番号「６」で応答モードになったことを表示しています。

※ さらに [▲] ボタンを押すと、その日に有効なプログラムがあれば押すたびに表示します。

※ ５秒間何も操作しないと、通常の時刻表示に戻ります。

ワンポイント

- 登録したプログラムタイマーの有効期間は、登録した年を含め最大 10 年です。
  （例１）2014/1/1 に登録した場合
  ⇒ 有効期限：2023/12/31
  （有効期間：10 年）
  （例２）2014/10/1 に登録した場合
  ⇒ 有効期限：2023/12/31
  （有効期間：９年と 92 日）
  そのため、有効期間内に再登録をしてください。
- 旧バージョンのデータ入力ソフトではフラッシュメモリーカード DFC-30M をご利用になることができません。当社のホームページから最新版をダウンロードの上ご利用ください。詳細はホームページのダウンロードのページをご覧ください。

  バージョンアップが必要なソフトのバージョン番号 -- Ver. 1.10 以前

バージョン番号はここに表示されます。
この例では Ver.1.10 で、バージョンアップが必要です。

ホームページのアドレス：
http://www.takacom.co.jp/

保証とアフターサービス

- 本書は、下記記載の保証条件で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターへお問い合わせください。
- 本製品・添付のソフトウエアを使用して、お客様または第三者にいかなる損害が発生した場合にも、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保証書

型名 / 保証期間		3 回線音声応答装置 AT-D39SⅡ / お買い上げから 1 年間
お買い上げ日		年 月 日
お客様	お名前	
	ご住所	〒
	電話番号	
販売店	名前	
	住所	〒
	電話番号	

保証条件

1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無償修理いたします。
2 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。
3 保証期間内であっても、次の場合は有償修理となります。
① 保証書の提示がない場合
② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
⑨ 消耗品を交換した場合
4 この保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5 この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
6 ご贈答品、ご転居後の修理については、最寄りの当社営業所にご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター 0570-03-8811

受付時間：月～金 9：00 ～ 17：30 ＜土・日曜日、祝日、当社指定休日除く＞

修理に関するご相談

- 製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または当社「修理センター」へお問い合わせください。

当社ホームページ http://www.takacom.co.jp 「修理のご依頼」をご覧ください。

株式会社タカコム 検索

株式会社 タカコム

本社・工場／〒 509-5202 岐阜県土岐市下石町西山 304-709

P1E003100308R Oct. 2014